

# 日商簿記 1 級過去問ゼミ (CMC合格メソッド) ダウンロード講座

## 【第 131 回 : 商業簿記・会計学】

収録日 : 平成 25 年 11 月 5 日

### 【総評】

この回の商業簿記は連結の難しい問題でした。対応を間違えると足切になります。まずは、会計学で確実に 20 点をキープし商業簿記は 10 点をどう取るかに注力すべきです。

90 分の使い方

5 分 : 全体を見渡して、どこから解くかを考える

会計学が対応しやすいので、会計学を 30 分以内で 20 点越えを狙います

商業簿記は個別 B/S を満点取るつもりで時間をかけます。でも、またまた作問者の暴走が・・・  
<資料Ⅱの 21,000 円で取得した B 社株式 (取得割合 70%) のうち 10%> の日本語が、あいかわらず日商作問者のブアーな日本語力に悩まされます。作問者は日本語力をもっと鍛えて欲しいと切に願います。

連結 B/S は、現預金・その他有価証券・買掛金・借入金・資本金あたりは確実に取ってください。

本試験では、その他の論点は、ミスをおかしやすいですが、緊張感のなかでは仕方ないと思います。

当日の速報会などでの反応と合格率を考慮すると、上記の内容押さえれば (B 社株式・利益剰余金は別解で可能性があります) 13~15 点くらいはあったと思います。

では、解説をすすめます。

まずは会計学から説明します。

# 12/1回 商業簿記

**A社**

X1. 年

X2. 年

資	30,000
貸	10,000
利	11,000
評差	10,000

資	30,000
貸	10,000
利	14,000
評差	10,000

+5,000

△2,000

↓0.6  
36,600

A社 40,000  
a/kk 3,400

↑1,000 △3,400

7,060  
a/kk

少損利 2,000

少損(多) 2,000

受配 1,200 / 利 2,000  
少損(多) 800

P

資原	5,400
資	2,100
未	960 3,000

A

資上	5,400
----	-------

棚卸資 960 / 仕入債 960

(仕債 3,500 / 資債 3,500)

**B社**

X1. 年

X2. 年

資	20,000
利	3,000
評差	↓0

資	20,000
利	7,300
評差	↓0

↓0.7  
16,450

(B) 18,000  
a/kk 7,550

△455

4,095 × 1/7 = 585  
a/kk

↓ 27,800 × 10% = 2,780

(P) C 3,600 / B社 3,000  
益 600

(B) C 3,600 / 少損 2,780  
a/kk 585  
益 235

↓ B社 7,000 / 少損 2,780  
益 365 / a/kk 585

X1.

X2

資 52,500

CF 52,500

a/kk 0

12,800 × 80	C	160	元 × 30 × 80	2,400
1,600 × 80	資	20	CF × 100 × 80	8,000
7,200 × 80	棚卸	90	資	700 × 75
48,800 × 80	有価	610	利	50 × 78
			3,900	
70,400 ←			66,800	

3,600

# 12/1回 会計学

2分法

